



落語家の桂枝曾丸氏をお招きして、「桂枝曾丸と学ぶもしもの備え」と題し、防災にまつわる落語・絵解き説法をお話いただきました。身近

第2部 防災落語・音楽演奏会

な題材をもとに、日ごろの備えの大切さについてお話いただきました。枝曾丸さんは、防災士や応急手当普及員の資格をお持ちで、数年前より落語に防災を取り入れて、各自治体のイベントなどで活動を続けておられます。
和歌山県警察音楽隊とP・WINGSがやってきました。華麗で迫力のある演奏とパフォーマンスで、会場は感動と大きな拍手で包まれました！



防災フェア2019 in 仲町

9月7日は丸一日防災の日

いつ発生するか分からない地震や津波による大災害は、被害が想定される地域に住む私たち自身が、日ごろから備えておく必要があります。防災啓発イベントや公開救助訓練、防災講演会、避難訓練を通して、学び、体験し、備えることの大切さを実感する一日となりました。

津波避難訓練参加者数の推移

時間帯	実施年	参加者数
夜	2019年	841人
朝	2018年	755人
夜	2017年	1019人
朝	2016年	595人



本部シェイクアウト訓練の様子

夜の津波避難訓練

本年は、湯浅町主催で2回目となる夜間津波避難訓練を実施しました。
午後7時の緊急地震速報の放送で、シェイクアウト訓練を行い、大津波警報のサイレンを合図に高台への一斉避難を行いました。参加いただいた消防団、自主防災組織の皆さんには、避難誘導や、役場との無線通信訓練など、緊急時の連絡体制の確認も行いました。



本年は夜間に避難訓練を行いました。今後も、時期や時間帯、想定内容を変えながら、皆さんのご協力を

お願いいたします。

ながら、参加いただく皆さんに意義のある訓練になるよう、計画いたします。

乳幼児の居るご家庭に 液体ミルクのご紹介

「液体ミルク」は本年3月から国内で販売が開始された商品で、粉ミルクのようにお湯を用意したり、溶かしたりする必要がなく、常温で哺乳瓶へ移して使用できます。物が不足し、衛生面での不安のある災害時に備えてご家庭で備蓄してみたいかがでしょうか。



▶本町区の自主防災組織のみなさんに炊き出し訓練を行っていただきました！できあがった非常食は、来場者に振舞われました。



▶湯浅中学1年生が「小さな大人」として各種防災啓発ブースでがんばりました！



▶早稲田大学によるVR体験▶避難時の危険箇所を確認しました。



▶災害時等に活躍が期待されるドローンの操縦体験コーナー



▶羽衣国際大学による防災食を活用したアレンジ料理の振舞い



▶倒壊家屋を再現したセットを舞台に、ドローン、災害救助犬、救助隊・救急隊による救助訓練を行いました。



▶救助訓練